

大台ヶ原 (日出ヶ岳 1695m)

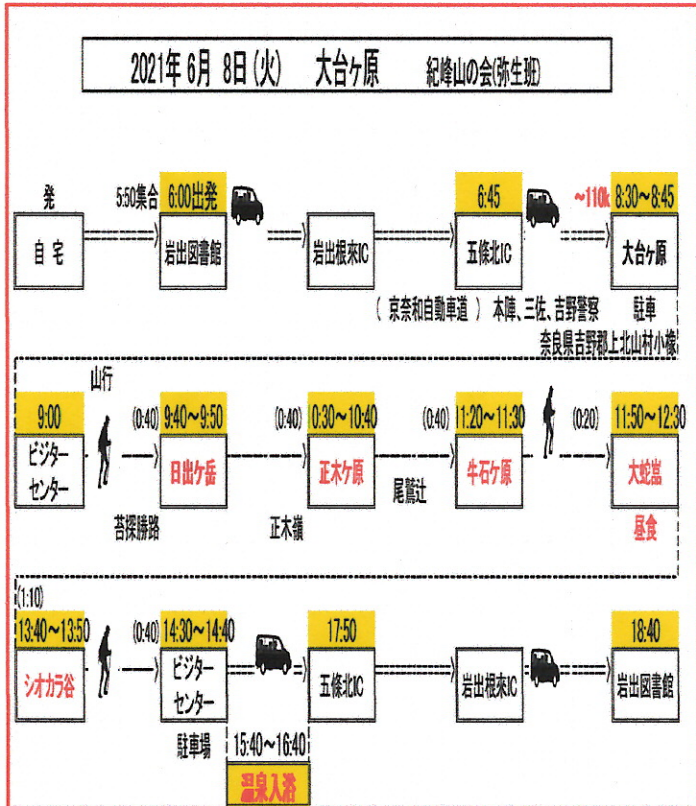
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) 2021年6月8日(火)

(メンバー) --- 計7名 (弥生班4名、他班3名)

※(行程) [予定]

※(行程) [結果]



(往路---車移動)

○岩出図書館 (出発) 6:00
○大台ヶ原駐車場 (到着) 8:30

(山行)

① 駐車場 8:40
② 大台ヶ原ビジターセンター 8:45
③ 日出ヶ岳 9:40
④ 正木ヶ原 10:30
⑤ 牛石ヶ原 11:10
⑥ 大蛇ヶ原 12:00

(昼食)

⑦ シオカラ谷 13:40
⑧ 大台ヶ原ビジターセンター 14:00

(帰路---車移動)

○大台ヶ原駐車場 (出発) 14:15
入之波温泉
○岩出図書館 (到着) 18:15

(東大台周回コースのロードマップ)



※[はじめに]

- 和歌山、奈良、三重の三県にまたがる吉野熊野国立公園にある大台ヶ原は、雨の多い地域で、湿潤な気象を生み出し、原生林を育てています。
 - 大台ヶ原は山全体が特別天然記念物に指定されており、日本百名山のひとつ。また、日本百景や日本の秘境100選にも選ばれており美しい景色が堪能できます。
 - 大台ヶ原といっても、東大台と西大台があり、東大台地区は誰でも気軽にハイキングが楽しめるが、西大台地区は貴重な原生林等の自然環境保護のため、1日の入山数が限られ、入山に許可が必要である。
 - 今回は東大台周回コースで梅雨空を心配した計画であったが、弥生班から4名、他班から3名参加してもらった。
- (なお、西大台は8月に山行予定であり、入山許可を申請中である。)

(写真1) (大台ヶ原駐車場にて)



- ・和歌山を6時出発し、大台ヶ原駐車場へは、8時30分到着。
雲一つない快晴であり、既に駐車場へは、30台、バイク10台程度、駐車していた。
- ・本日は、1男6女の山行。
先ずは、6女の記念撮影で、安全山行を祈願。
(1男=私は、おとなしくしておこう)

(余談)

- ・往路の車での話題。
メンバーの全員は孫がある年代であり、子育ての時は余裕がなく、自分の子供へは色々怒り倒したが、孫へは怒ることはないとのこと。
(年を経ると余裕があるのかなあ～。)

また、自分らの時は旦那に従っていたが、今の若い夫婦は、男女同権で環境が変わったといった、たわいもない話であつという間に現地に着いたのであります。
(本当に旦那に従っていたのかなあ～?)

(写真2) (東大台の登山口)

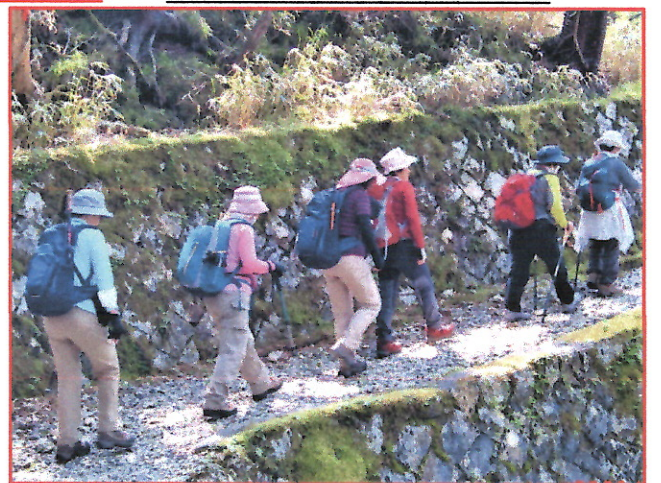


- ・まずは、日出ヶ岳に向けて出発進行。

(写真3) (整備されたゆるやかな坂)



(写真4) (少し角度がついてきた坂)



(写真5) (小鳥の看板)



- ・耳を澄まして進んでいると、色々な鳥の声が聞こえ、清々しい気分である。

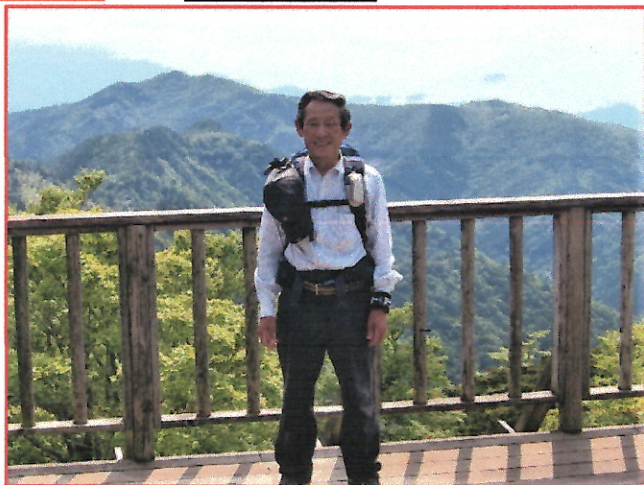
看板には9種類の小鳥(ウグイス、コマドリ、アカゲラ、ミンサザイ、ヒガラ、オオルリ、ゴジュウカラ、メボソムシクイ、ルリビタキ、)が、生息しているとのこと。

(写真6) (花の撮影)



- ・小鳥の次は花の撮影。----- 「シロヤシオ」

(写真9) (展望台にて)



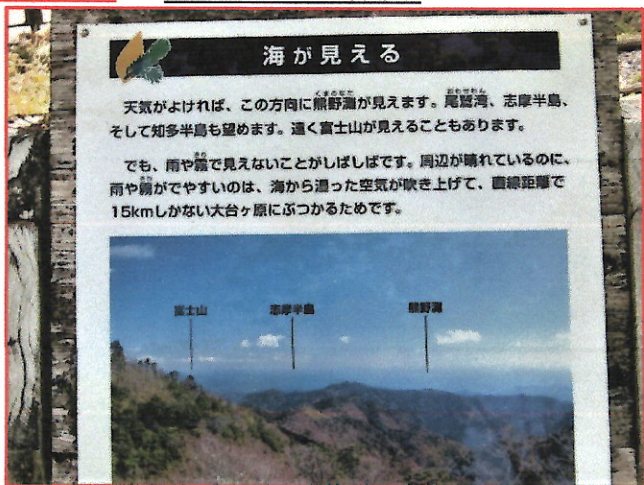
- ・本日初めて登場の1男。

(写真7) (シロヤシオと共に)



- ・「シロヤシオ」と「枯れ尾花」
(これを見たメンバーは怒るかな-----
いやいや、余裕のなるメンバーだった。)

(写真10) (展望台での看板)



- ・看板には、天気が良ければ、熊野灘、志摩半島、知多半島、遠く富士山が見えることもあ
ると記されていた。
当日は、熊野灘、志摩半島までは見えていた。

(写真8) (展望台にて)



- ・天気がよく、熊野灘方面も見えた。

(写真11) (頂上はもう直ぐだ)



- ・息遣いの荒いメンバーも-----

(写真 12) (日出ヶ岳 1695m 山頂にて)



- ・ 9時40分、山頂にて記念撮影。
本日、最初で最後の全員での撮影。
(愛知県から来た登山客にお願いした)

(写真 13) (日出ヶ岳山頂からの眺望)



- ・ 山頂から西側方面の景色。
大普賢岳、弥山、八経ヶ岳、釈迦ヶ岳が
多分見えていると思うが、どれかわからない。

(写真 14) (日出ヶ岳を下山し正木ヶ原へ)



- ・ 山頂で10分の小休止(おやつタイム)後、
次の目的地へ出発。

(写真 15) (シロヤシオが満開)

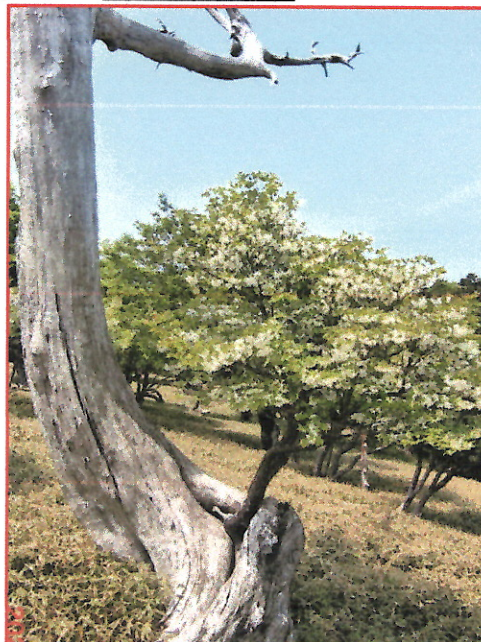


(写真 16) (シロヤシオのトンネル)



- ・ 花に囲まれて満面の笑顔。

(写真 17) (珍しい風景)



- ・ 木の割れ目から、シロヤシオが――

(写真 18)

(正木ケ原)



- ・ 10時30分、予定どおり正木ケ原へ到着。ここは、素通りで次の目的地へ。

(写真 19)

(牛石ケ原)



- ・ 11時10分、牛石ケ原へ到着。ここも素通り

(余談)

- ・ 道は平坦でスイスイ進むため、誰かが、「前回の鉄山は急登で、地獄ロードだったが、今回は天国の道や。このまま極楽へ行きたいなあ～」と言あり。すると空かさず、「貴方は、日頃の行いから地獄へ振り落とされる」と呟く人もあり。口達者なメンバーばかりである。

(写真 20)

(アカヤシオ)



- ・ 「シロヤシオ」に交じって『アカヤシオ』も。

(余談)

- ・ メンバーの一言。「アカヤシオは多くのシロヤシオがあるから引立つ。人間も4～5人いれば一人が目立つ」との呟きがあった。良い意味か、悪い意味で言っているのか？ 1男6女のこのメンバーでは、私が目立つのかなあ～？

(写真 21)

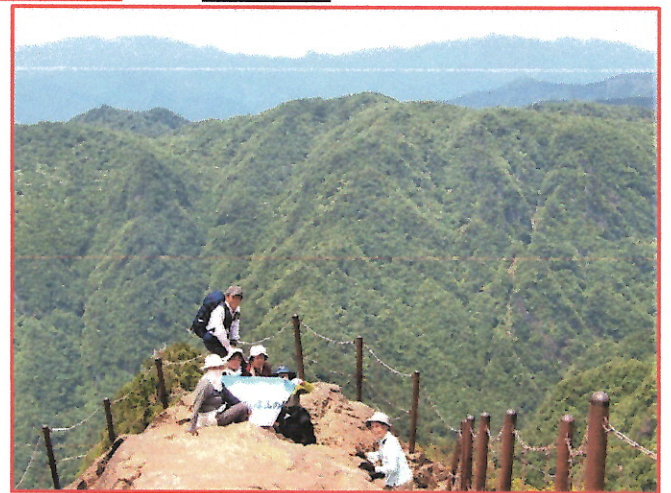
(大蛇窟)



- ・ 12時、怖々と記念撮影。

(写真 22)

(大蛇窟)



(写真 23)

(ランチタイム-1)



- ・ まずは乾～杯～。冷えたノンアルが美味しい。

(写真 24) (ランチタイム-2)



- 上には「シロヤシオ」、横には「-----花」
花に囲まれ、ビールが美味しいと言っておこう。

(写真 25) (シオカラ谷)



- 13時40分、シオカラ谷に到着。
ここから最後の登り坂がある。

(写真 26) (笹薮を横に)



- シオカラ谷を過ぎて、もう少しで終点の
駐車場へ向かう。

(写真 27) (西大台との接点)



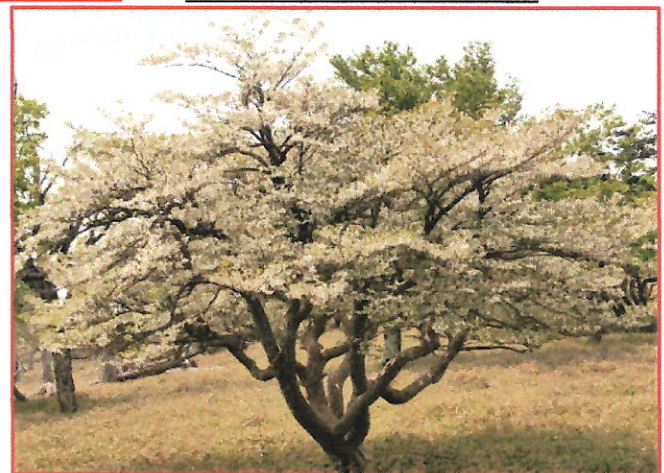
- 途中で西大台と並行の道を進行。

(写真 28) (笹の花)



- 途中で大変珍しい「笹の花」があった。
10年に一度咲く? ネットでは60年に一度?

(写真 29) (本日最高のシロヤシオ)



[最後に]

- ※・今回の東大台周回コースは、メンバー全員
が経験済みであったが、こんなに快晴に恵
まれ、シロヤシオの満開も初めてであり、
最高に良かったと全員の感想があり、
1男6女の旅は、楽しい会話共に帰路に就
いた。
- 8月予定の「西大台」も楽しみだ!!